

ズボンのすそをまくり、素足で砂浜を歩く参加者たち—白浜町で



早朝の砂浜すかすかしく

第1回素足ウォーク

土産物店主ら
50人が参加 夏以外の集客に期待

白浜

砂の効用を考え
る「第1回白良浜
素足ウォーク」が、
白浜町の白良浜海水浴場
であり、土産物店主やホ
テル経営者、行政の観光
担当者ら50人が、裸足で
早朝の砂浜を歩いた。

白い砂浜が600以上に
わたって広がる同海水浴
場は、全国屈指の美しさ
と言われている。しかし、
5月の海開きから夏の海
水浴シーズンが終わると
途端に人けがなくなる。
このため、せっかくの
財産をもっと活用しよう
と、白良温泉旅館協同組
合(小竹幸理理事長、25軒)

が、砂浜を素足で歩くこ
とによる医学的な効果な
どがあればPRしようと
呼びかけた。

午前6時、参加者たち
はズボンのすそをまく
り、波打ち際や足首まで
埋まるほどの砂浜を、感
触を確かめるように歩い
た。足湯の後、「足の裏

は第二の心臓と言われ
る。すがすがしい気分。
足湯も気持ちよかった。
末梢の循環にいいと思
う」「浜辺を歩いている
と癒やされる」などの感
想を話し合った。

小竹理事長は「足の指
の間に砂が入って刺激さ
れ、気持ちよかった。今
後、モニターを募り効用
を発表していきたい。団
塊の世代は健康に関心が
深く、集客につながる」
と話していた。

【吉野茂毅】